

出席者

[正副会長] 松永会長 金井副会長
[理事] 実川理事長 他常任理事 連盟理事

【出席者18名、委任状6】規約第22条により成立

本日の議事

【進行】二畑 【書記】山口

1. 主な実施済み業務

- (1) 9/10~初心者講習会(4日間開催):信篤体育館使用不可のため、塩浜と国府台で開催、大人87名、子供80名と前年度より増。この機会にバドミントンマナーを教示していく必要がある。
- (2) 9/23 市民大会 MD,LS,TD-AL:MD,LSの参加定数を設定しなかったが、予定どおり完遂。TD-ALは定数により参加できない組があり課題。シングルスとトリダブを交互に行うことでシングルの審判員不足を解決できた。
- (3) 10/7 市民大会 MS,LD:大会参加選手以外の競技フロアー立ち入りについて課題認識→安全性や競技フロアー内混雑緩和の観点から、大会参加選手以外は競技フロアーへの立ち入らせないことを原則とし、参加者心得ないし大会運営規則の変更等で対処する。
- (4) 10/15 市民大会初級者:シルバー枠は継続しつつ、5部相当選手の参加資格について引き続き検討する必要がある。
- (5) 10/14,15 県民大会:男女共に2日目開催の準々決勝進出

2. 主な当面の行事

- (1) 10/29 4市対抗ジョイフリー大会:市川市チーム参加メンバーを確認
- (2) 小中高生の一般大会参加について
実力的側面および主審を遂行できない選手が参加していたことで試合進行に支障を来したという課題については、学校側の強い弱いに関係なくどの生徒にも試合経験をさせたいという心情に鑑み、中高生の参加は教職員中高連盟でとりまとめることで、適正なランクによる申込とすることが可能か引き続き検討。
- (3) 市スポーツ課主催「子供たちのための競技力向上事業」の実施に協力する。ジュニア連盟や教職員中高連盟で参加者を選定する方向で検討。
- (4) 12/9,10,16 冬季団体戦:いずれの日程も前半を女+男1ブロック、後半を残りの男ブロックとしたタイムテーブルで実施する
 - (ア) 12/9 → 女1,2部 男1,2,3部
 - (イ) 12/10 → 女3,4部 男4,5,6部
 - (ウ) 12/16 → 女5,6部 男7,8,9部

3. その他

- (1) 大会運営のIT化
IT化の検討チーム<ペーパーレス委員会>を発足、7名のメンバーで検討を開始した。

大会プログラムの削減（ペーパーレス化）等の実現に向けた進捗状況が報告された

(2) 個人戦タイトルの改訂_2024 年度に向けて

前回理事会の確認事項を踏まえ、2024 年 1 月に改定する。

(3) 次年度団体戦に向けて：前回理事会に続き何とか 3 試合を確保する策について理事会
で提案された複数案のメリデメを協議し、3つの案に絞り込んだ。継続検討。

今後の予定(連絡事項)

◇ 2023 年度第 5 回理事会：1 月 28 日(日)_17:30~信篤公民館

以上